



民衆交易 東ティモール・エルメラ



<コーヒー基本情報>

産地 : 東ティモール・エルメラ県
 品種 : アラビカ種 (ハイブリッド・デ・ティモール他)
 標高 : 900m~1400m
 生産者 : エルメラ県の小規模生産者
 生産者数 : 20グループ 376名 (2021年8月現在)
 加工方式 : 水洗加工方式
 収穫時期 : 6月~8月



アジアで一番新しい国、東ティモールは、コーヒーが主要産業です。東ティモール最高峰のラメラウ山の裾野に広がるエルメラ県では、標高900m~1400mの丘陵地帯で、県内の農民の大半(約85%)の約18,000世帯がコーヒーの栽培に携わっています。朝晩の気温差が大きく、コーヒー栽培に適した地域で、ポルトガル植民地時代に持ち込まれたコーヒーの木が栽培されています。ATJは、現地法人オルター・トレード・ティモール社(ATT)を主体として、現地で活動する生産者グループと協働のもと、生産者の為のコーヒーづくりを進めています。

生産者と共に品質向上

生産者は、かつては収穫したコーヒーチェリーを仲買人からの言い値で販売するのみでした。そこで、ATTは、生産者のもとへ直接出向き、収穫、選別、果肉除去、発酵、乾燥までの加工工程の指導・品質管理を行い、生産者の技術向上に取り組んできました。現在、全ての生産者が自分たちでパーチメント加工まで行うようになり、その品質も年々向上しています。



生産者に指導する様子 (右: ATT スタッフ)

生産者のより良い生活のために

コーヒーの木が古く収量が落ちるため、木の剪定や有機肥料作り・施肥をおこなったり、パーチメント買付金額に基金を上乘せして積み立てて活用するなど、生産者の生活向上を目指して様々な取り組みを行っています。(基金の活用事例: 品質改善のためのドライイングベッドの導入、シェードツリーの苗木作り、収入多様化のための野菜・果物栽培など)



手作りの有機肥料の施肥



ドライイングベッドの導入



野菜や果物の栽培